

2017年度 本州日本海におけるサケ回帰状況
(第3報：2月28日現在)

国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所 資源管理部
さけます調査普及グループ

- ・ 2月28日までの本州日本海側（秋田県～石川県）のサケ来遊数は60.8万尾となり、平年*の85%となった。
- ・ 年齢別来遊数は3年魚を除いて過去11年間の平均値を下回った。

※平年とは、1997～2016年の平均値

1. サケ来遊概況

2月28日現在までの本州日本海側（秋田県～石川県）におけるサケ来遊数（沿岸漁獲数と河川捕獲数の合計）の累計値は60.8万尾（前年同期：109%）と前年を上回りました。平年同期（1997～2016年の平均値、71.6万尾）との比較では85%という状況で、2012年とほぼ同様の水準となりました。（図1）。

河川捕獲数の累計値は32.5万尾（前年同期：110%）と前年を上回り、平年同期（38.0万尾）との比較では85%となりました。

沿岸漁獲数の累計値は28.3万尾（前年同期：107%）と前年を上回り、平年同期（33.6万尾）との比較では84%となりました。

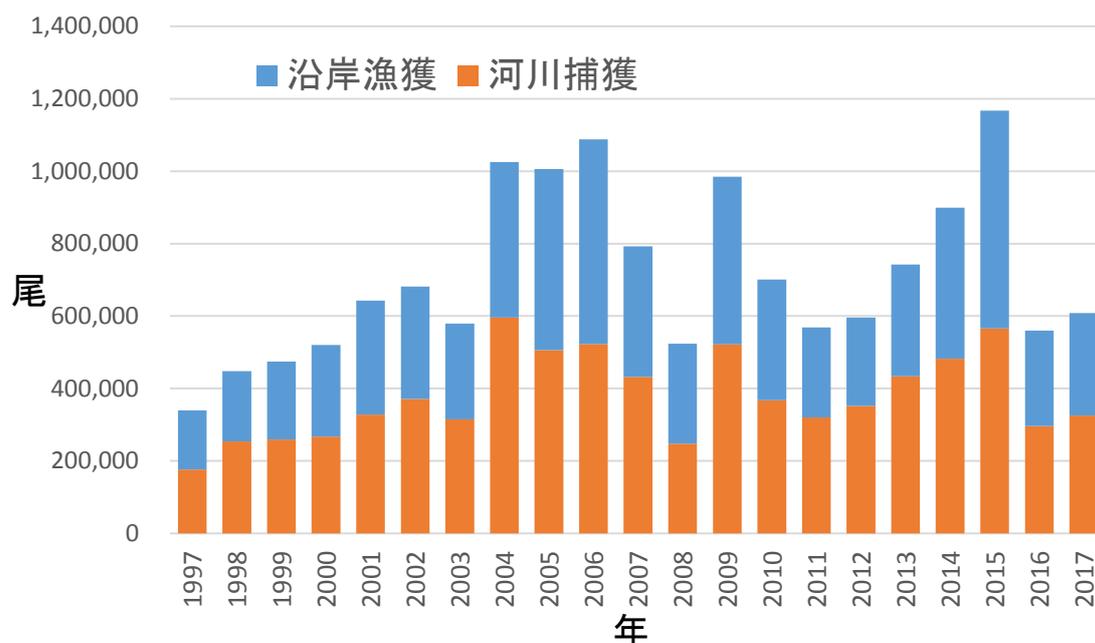


図1 9月1日～2月28日までの本州日本海側におけるサケ来遊数（累計値）の経年変化

2. 年齢別来遊数

2月28日までの川袋川、牛渡川、三面川、名立川、庄川、手取川の6河川について、年齢組成情報を基に年齢別の来遊数を推定し、過去11年間で比較しました。(図2)

年齢別に2年魚、3年魚、4年魚、5年魚、6年魚はそれぞれ前年比89%、146%、107%、50%、181%となっており2年魚、5年魚は前年を下回り、3年魚、4年魚、6年魚は前年を上回っています。過去11年間では3年魚は2006年～2016年の平均を上回る(平均との比140%)、その他年齢では4年魚(72%)、6年魚(41%)、5年魚(32%)、2年魚(18%)と減少しています。

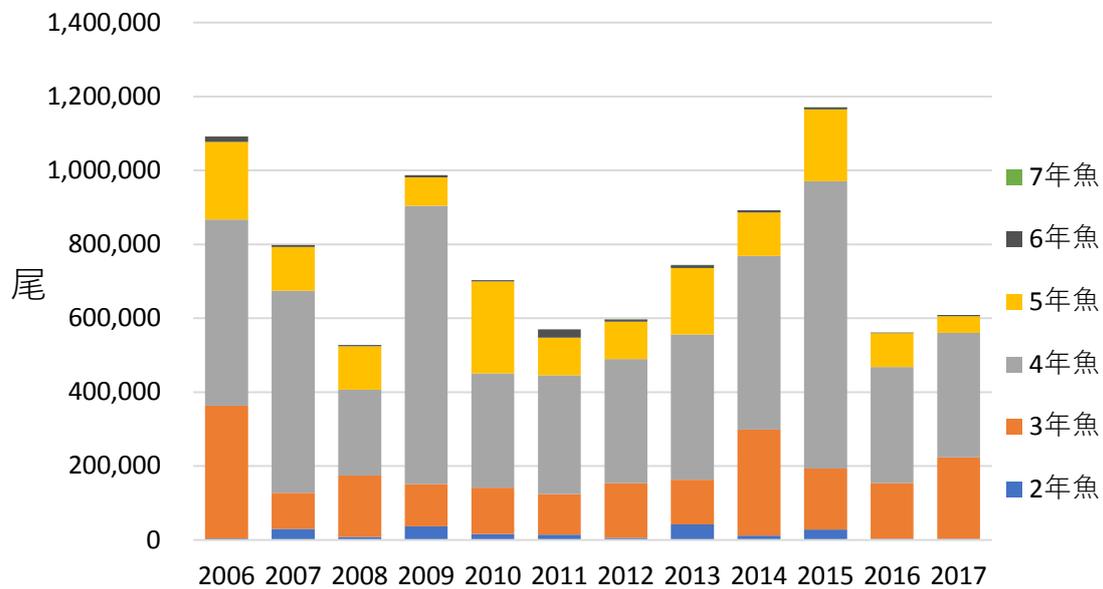


図2 2月28日時点の本州日本海側(秋田県～石川県)におけるサケ年齢別来遊数(累計値)の経年変化

3. 年齢別河川捕獲数

3月15日現在の川袋川、牛渡川、三面川、名立川、庄川、手取川の6河川（図3）について、年齢別に河川捕獲数を年間の累積数でまとめています。



図3 2017年度 年齢調査河川

秋田県の川袋川では、捕獲数は約22千尾で前年比239%と前年を大きく上回りましたが、2006～2016年の平均に対しては96%の捕獲数となりました（図4）。

2017年の捕獲数の年齢割合は、3年魚が66.6%を占め、4年魚が28.8%、5年魚4.3%、2年魚0.2%、6年魚0.04%となっており、3年魚は、2006年以降で最も多くなっています（図5）。

山形県の牛渡川では、捕獲数は約22千尾で前年比70%と前年を下回り、2006～2016年の平均に対して55%の捕獲数となりました（図4）

2017年の捕獲数の年齢割合は、4年魚が59.9%を占め、5年魚が19.6%、3年魚19.0%、6年魚が1.3%、2年魚が0.2%となっています（図5）。

新潟県の三面川では、捕獲数は約47千尾で前年比174%と前年を上回り、2006～2016年の平均に対して123%の捕獲数となりました（図4）

2017年の捕獲数の年齢割合は、4年魚が64.7%を占め、3年魚31.4%、5年魚2.7%、2年魚1.0%、6年魚0.2%となっており、3年魚は2016年に続いて多くなっています（図5）。

新潟県の名立川では、捕獲数は約 10 千尾で前年比 69%と前年を下回り、2006～2016 年の平均に対して 58%の捕獲数となりました（図 4）

2017 年の捕獲数の年齢割合は、4 年魚が 71.7%を占め、3 年魚が 25.4%、5 年魚 2.0%、2 年魚 0.5%、6 年魚 0.4%となっており、5 年魚は、2006 年以降で最も少なくなっています（図 5）。

富山県の庄川では、捕獲数は約 6 千尾で前年比 32%と前年を大きく下回り、2006～2016 年の平均に対して 21%の捕獲数となりました（図 4）。10 月の河川増水により、サケ親魚を捕獲する施設が被害を受けたため捕獲数が減少しました。

2017 年の捕獲数の年齢割合は、4 年魚が 58.8%を占め、3 年魚が 32.0%、5 年魚 7.8%、6 年魚 0.9%、2 年魚 0.5%となっており、5 年魚は、2006 年以降で最も少なくなっています（図 5）。

石川県の手取川では、捕獲数は約 4 千尾で前年比 33%と前年を大きく下回り、2006～2016 年の平均に対して 47%の捕獲数となりました（図 4）。

2017 年の捕獲数の年齢割合は、4 年魚が 66.6%を占め、3 年魚が 22.1%、5 年魚 11.0%、2 年魚 0.3%となっています（図 5）。

*サケ来遊数（沿岸漁獲数、河川捕獲数）については、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県のご協力により速報値を集計しました。また、石川県手取川については石川県水産総合センター生産部美川事業所から年齢査定に関わる調査協力を頂きました。

*サケ道県別来遊数については国立研究開発法人 水産研究・教育機構 北海道区水産研究所の HP (<http://hnf.fra.affrc.go.jp/>) に掲載しています。

2年魚 3年魚 4年魚 5年魚 6年魚 7年魚

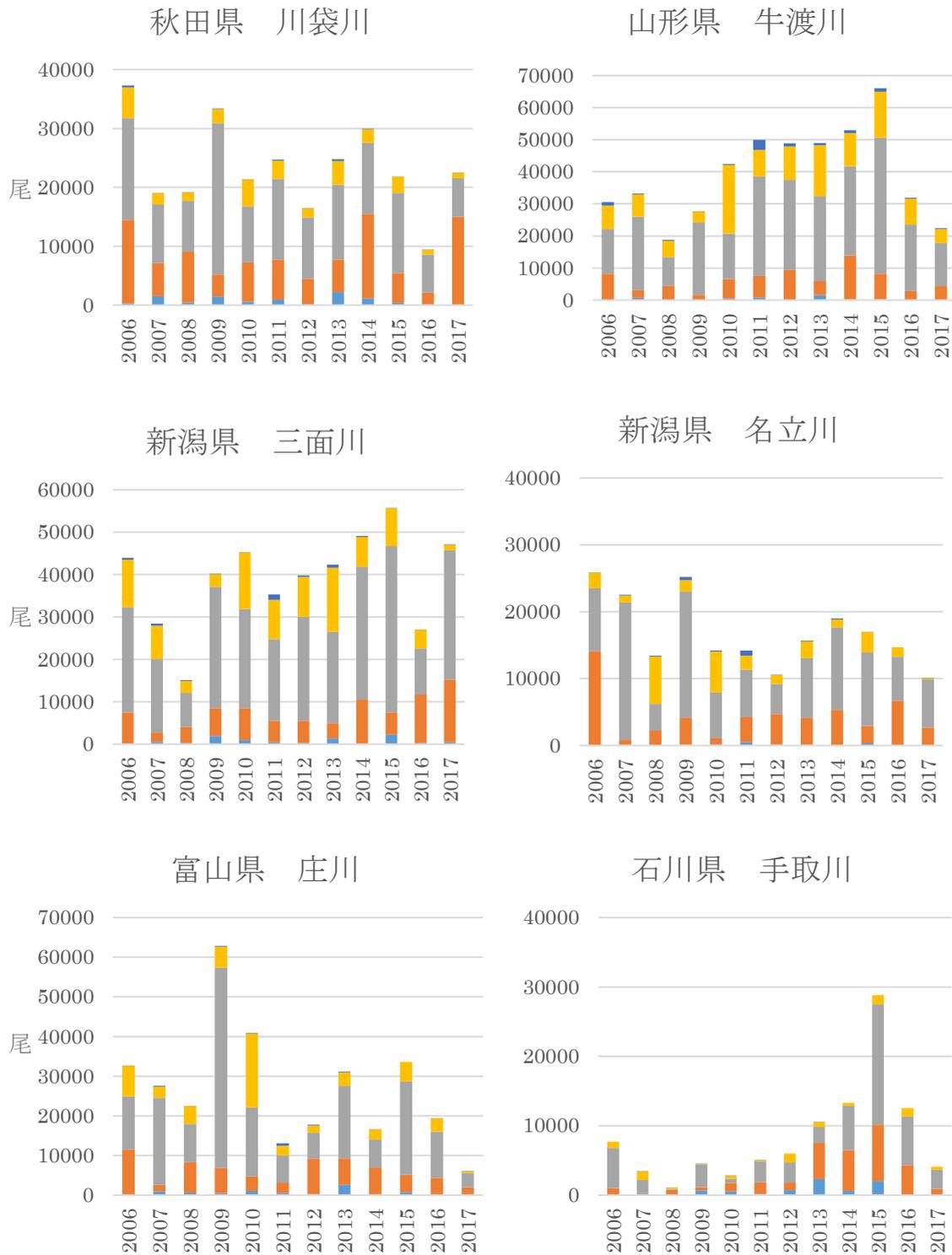


図4 年齢別の河川捕獲数（2月28日現在までの累計値）の経年変化

2年魚 3年魚 4年魚 5年魚 6年魚 7年魚

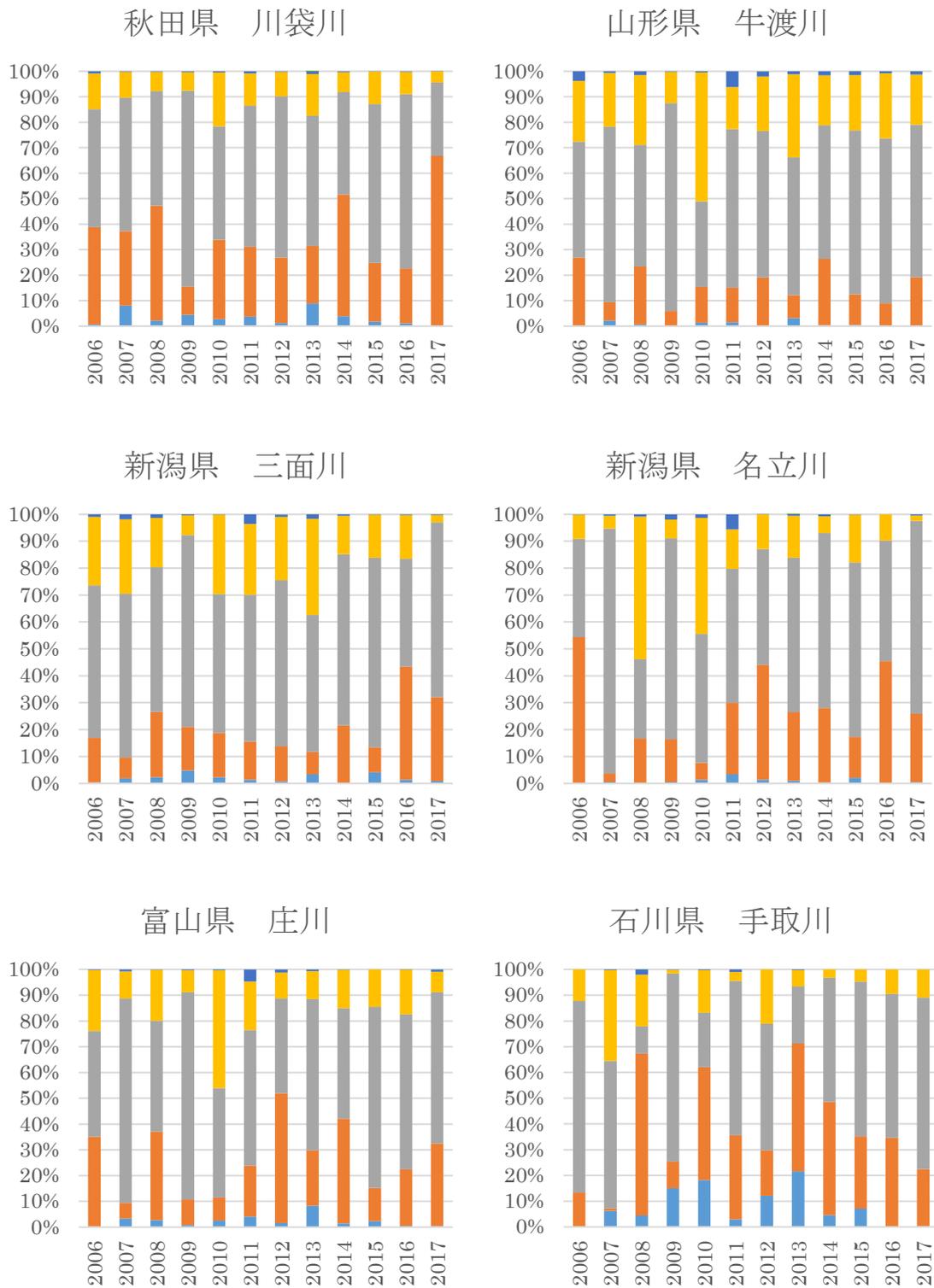


図5 年齢別の河川捕獲割合の（12月31日現在）の経年変化